



東京野々市会では関東圏在住者の入会を随時受け付けています。

ふるさと野々市の応援団

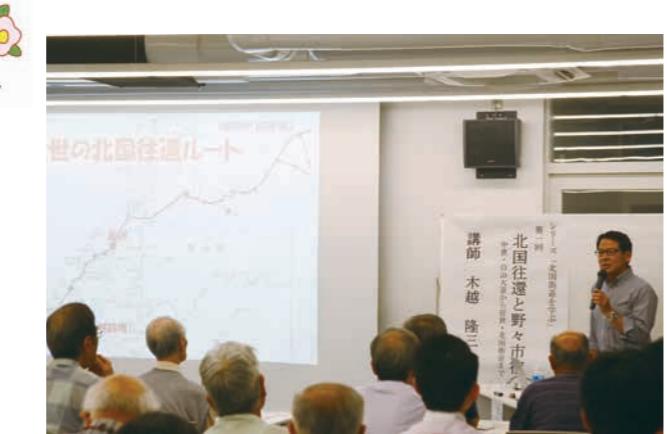
東京野々市会総会

東京野々市会の総会および懇親会が7月7日(土)に東京都千代田区の都市センターで開かれ、会員ら19人が出席しました。総会では、東京野々市会が2020年に設立30周年を迎えることから、記念事業を検討することを決定するとともに、今後の会のあり方について議論を深めました。

総会後に開かれた懇親会ではふるさと野々市の思い出話や、会員の近況報告などで盛り上がり、会員同士の親睦がより一層深まる会となりました。

知って、学んで、旅に出よう シリーズ「北国街道を学ぶ」

6月28日(木)、学びの杜のいち カレードで旧北国街道についての学習会が開かれました。講師の木越氏は「北国往還と野々市宿」と題して講演。中世から近世の野々市で政治情勢とともに移り変わった街道の様子や役割を、当時の旅の記録などを元に解説しました。全4回の第2回は、7月20日(金)に松尾氏を講師として「街道ぶらり旅の楽しみ方と宿場町の魅力」をテーマに開催。第3回は8月6日(月)、第4回は9月3日(月)に実施、秋にはウォーキングツアーの開催も予定しています。



第1回の講義。約80人の参加者は熱心に聞き入っていました。



市内8カ所の幼稚園と保育園で開催しました。

命を守るために大切な行動

あすなろ保育園 幼年消防クラブ

7月11日(水)、市消防団第5分団と野々市消防署員があすなろ保育園を訪問し、地震の際の行動について、紙芝居と寸劇を行いました。寸劇では、家庭で地震が発生した場面を想定。お母さん役の団員が、机の下に隠れて頭を隠すのと話すと、園児たちは力強くうなづいていました。その後は、園庭で消防車を用いた放水体験を実施。ヘルメットと防火衣を羽織った園児たちは、消防士に変身。本物の消防士と一緒にホースを握り、少し緊張した様子で放水を行いました。

心豊かに 美に触れる

第7回 市美術展

7月6日(金)～15日(日)の間、市美術展が開催され、期間中で延べ1,309人が足を運びました。作品は、日本画、洋画、書、写真、工芸、彫刻などさまざま。ジュニアの部もあり、大人から子どもまで134点の力作が出展されました。最優秀作品に授与される野々市市長賞を、怒りと楽しさの表情を映した能面「怒＆楽」で前畠信雄さんが受賞しました。来場者は、「知り合いが出展していると聞いて見に来た」と、身近な芸術を楽しんでいる様子でした。



作品についての語り合いも芸術鑑賞の楽しみの一つですね。

Fまちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 (☎ 227-6056)

夏を伝える郷土の伝統

富奥地区虫送り

7月21日(土)にスポーツランド横のふれあい広場で、富奥地区虫送り大会が行われました。「虫送り」は、稻を荒らす害虫を追い払い、豊作を祈願する伝統行事。日が暮れた午後8時ごろ、たいまつを持った多くの人が集落名の書かれたちょうちんと太鼓を先導に会場へ集まりました。広場の中心に設置された大たいまつの回りには、20町内会の太鼓がずらりと並びました。大たいまつに火が点くと、会場の盛り上がりは最高潮に達し、勇壮な太鼓のリズムが鳴り響きました。火が消えた後には、隣接するさわやかホールで子どもすもう大会が行われ、虫送りの炎に負けない熱い戦いが繰り広げられました。



1. たいまつを持って会場へ 2. 練習を重ねたリズムを刻みながら会場へ進みます
3. 炎でつくられる虫送りの文字 4. 子どもすもう大会では小さな力士たちが登場
5. 大たいまつの大きな炎と太鼓を叩く子どもたち 6. 力強いバチバチばさきから生まれる勇壮な音

図書館でボランティア活動

カレードサポートーズクラブ養成講座

6月29日(金)と30日(土)の2日間、学びの杜のいちカレードでカレードサポートーズクラブ養成講座が開かれました。図書館の仕事に興味を持つ人を対象とした今回の講座には約50人が参加。参加者は初めにボランティア活動の心構えを学び、その後、読み聞かせ・本の修理・図書整理の3グループに分かれて講義や実技指導を受けました。養成講座を受講したカレードサポートーの皆さんには、8月から実際に図書館でボランティア活動を行います。



本の修理・修繕について学ぶサポートーの皆さん



「介護の魅力知っています」と題して発表する吉村さん

介護の仕事ってすばらしい

ののいち介護ラボ

ののいち介護ラボ実行委員会は6月22日(金)、イオンシネマ御経塚で介護の仕事のやりがいや楽しさを広めるイメージアップイベントを開催しました。ラボでは、介護職員と留学生の5人が実体験に基づく発表を行いました。一般人が介護職に思い描く「辛い・汚い・薄給」などの大変そうなイメージとは裏腹に、5人からは異口同音に魅力的な仕事との声が聞かれました。映画館の迫力ある音響とスクリーンを活用したイベントは大成功で、参加者100人は充実した時間を過ごしました。